

## 東日本大震災五周年追悼式における挨拶

尊敬する友人の皆様、

2011年3月11日に日本の東北地方を襲った大震災から今日で5年がたちました。あの日、テレビに映し出された津波の映像は私たちの目に焼きついて忘れることが出来ません。この未曾有の大災害でかけがえのない命をなくされた数多くの方々に改めて心より哀悼の意を表します。

ロシアは最初に救援の手を差し伸べてくれた国の一つでした。ロシア非常事態省の救援隊は、震源から近い宮城県の石巻市で直ちに活動を開始しました。追加の部隊はここサハリンからヘリで被災地に到着しました。サハリンの人々は隣人として、鶴を折って被災地の人々を励ます等、様々な活動に取り組みました。皆様の暖かいご支援に心より感謝申し上げます。

サハリンは天然ガスの輸出の増加によっても日本を助けてくれました。福島第一原子力発電所の事故の後、日本の原子力発電所は安全が確認されるまで全て停止したため、深刻な電力不足に陥りました。しかし、サハリンの天然ガスを含むエネルギーの追加供給により、危機は緩和されたのです。

日本とサハリンはいずれも地震の多い地域に位置しています。1995年のネフチェゴルスクの地震の際には日本も緊急支援物資を供与し、医療支援を行いました。私も昨年、オハにある追悼の碑の前で犠牲者のご冥福を祈りました。災害対策では国際協力が極めて重要です。昨年はロシアも参加して東北で国連防災会議を開催されました。日本は世界から受けた支援の「恩返し」として、世界で災害に強い街づくりを助けることを約束しました。日本とサハリンも防災分野で協力が可能でしょう。

悲劇から5年が経過し、被災地の復興も着実に進展しました。インフラの復旧はおおむね終了し、住宅再建・産業の再生が進められています。福島原子力発電所の状況も安定しており、今後は廃炉に向けた長いプロセスを進んでいくこととなります。食品の安全も厳格にコントロールされています。世界で最も厳しい基準値に基づく検査をしているので、問題のないものしか販売されていません。

皆様、

東北地方は日本でも良く知られた農産品、海産物の産地です。本日は式典の後におつまみとともに、東北産の日本酒を用意しました。皆様が東北の産品を試し、その文化を知ることが被災地の支援になります。総領事館では4月に州立美術館と協力して東北地方の写真展を行います。東北の伝統文化と生活を描いた興味深い写真展です。皆様のご来訪をお待ちしています。

最後にこの機会を利用して、お知らせがあります。私はサハリンにおける任期を終え、まもなく日本に帰ることになりました。これまでの在任地の中でサハリンは最も思い出深い所でした。サハリンの潜在力が増大しており、皆様とともに日本とサハリンとの協力に取り組

むことが出来たことは私にとって大変嬉しいことでした。

したがって、本日二番目の感謝は、私と当館の活動への皆様からの暖かいご支援に対するものです。

本当にどうもありがとうございました。

平成28年3月11日  
在ユジノサハリンスク総領事  
今村 朗